

第8部門A 文献

10円桜に惚れて ^{よしおか}吉岡 ^{かずひこ}一彦 (埼玉県)

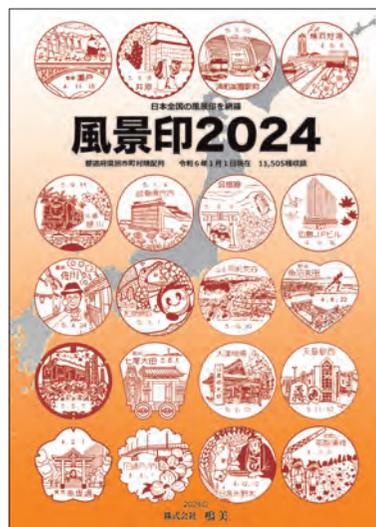
10キロボックスを何箱も買い込んで、覚えてたの様々な消印と満月消しを拾っていました。それらを水剥がしして貯め込んだ袋を見て、当時、熊谷支部会員であった寺尾伸厚氏に「そんなにあるなら10円桜でカレンダーでも作ったら」と言われて実際に作ってみると80%以上が埋まり、カレンダー作りに火が付きました。このことがきっかけで、10円桜への興味が増し、10円桜に関するものはなんでも集めるようになりました。



風景印2024 ^{たけだ}武田 ^{さとし}聡 (東京都)

都道府県別市町村順配列で、令和6年(2024)1月1日現在使用中の風景印11,505種全ての印影を掲載しています。

郵便局名、分室名、郵便局種、現図案使用開始日、郵便番号、自治体名、図案説明を加えています。



不統一印 ^{やまぎ}山崎 ^{よしゆき}好是 (東京都)

昭和57年に『不統一印』最初の版を刊行しました。国別に編集した初めての本でした。昭和63年から平成13年にかけて3分冊の『不統一印』を刊行し、3,037個の印影を収録しました。

その後、赤ペンでデータを書き足していましたが、10年もすると原本が真っ赤になって読めなくなりました。そこで、令和5年8月に編集を再開し、年末になんとか形になったので、全国の地元の消印収集家の方々にデータの補強をお願いして、新たに1,123個の印影を加えて4,161個の不統一印の印影を収録することができました。

